

令和8年度予算に対する修正案（概要）

— 「命」と「暮らし」を守り抜くための緊急提案 —

2026(令和8)年4月6日

立憲民主党・公明党

現在、イラン情勢の緊迫化を受けて、原油高・物価高が加速し、国民生活が脅かされている。先行きは依然として不透明であるが、政府としては、不測の事態に備えるべく、万全の体制を早急に構築するのが責務である。

しかしながら、政府提出の令和8年度予算は、昨年12月末に閣議決定されたものであり、今般のイラン情勢緊迫化による国民生活への影響は考慮されていない。予備費を含む既存予算では到底不十分であり、また、補正予算の編成には更なる時間を要する。したがって、我々は、国民の「命」と「暮らし」を守り抜くため、令和8年度予算に対する緊急の修正提案を行うものである。

「暮らし」を守る —原油高・物価高対策

○ ガソリン・軽油・灯油・重油・航空機燃料の価格引き下げ：1兆8,000億円

- … ガソリン価格を抑制する補助金の仕組みを活用
事態の長期化に備え、当面必要となる財源を措置し、「暮らし」の安心を確保
(補助額30円/ℓの場合、半年間は補助金を維持できる規模)
農業者・漁業者等の置かれた厳しい状況にも適切に対応

○ 電気・ガス料金の引き下げ：1兆5,000億円

- … 現行の「電気・ガス料金負担軽減支援事業」(~3月分)について、
補助額を1.5倍に拡充するとともに、半年間延長
(4人世帯で電気料金約▲4,000円/月、ガス料金約▲2,000円/月)

○ 低所得者世帯向け給付金：5,000億円

- … 今般の基礎控除等の引き上げによる恩恵が及び難く、
物価高の影響を大きく受ける低所得者に対して迅速に給付
(住民税非課税世帯1世帯あたり3万円、うち子育て世帯は子ども1人当たり2万円を加算)

○ 「防衛増税」の凍結：▲380億円（復興財源の確保：380億円）

- … 増税で確保することを予定していた防衛財源1兆円強は、
法人税・たばこ税の増税により既に確保の見通しが立っていることから、
防衛特別所得税の創設(2027年1月~)を凍結
復興特別所得税を現行の水準で維持し、復興財源を確実に確保

「命」を守る — 必要な医療の確保

- 高額療養費制度の自己負担限度額引き上げ凍結：300億円
- OTC類似薬に関する患者追加負担(「特別の料金」)の慎重な検討
 - … 原油高・物価高による更なる負担増が想定される中で、必要な受診が抑制され、「命」が脅かされることのないように、患者の負担増に繋がる措置については凍結、あるいは慎重に検討

- ナフサの供給減・価格高騰を受けた医療機関支援：500億円
 - … ナフサの供給減・価格高騰により、注射器、点滴・輸液用のバッグ、各種チューブ、カテーテルなど、医療現場で欠かせない器材が高騰し、「命」を守る医療機関の経営が圧迫される恐れがあることに鑑み、医療機関に対して器材購入費の補助を実施

[財源確保について]

「3年ルール」を超えて措置されている「積み過ぎ」基金の一部を国庫返納させることにより、特例公債を増発することなく、「命」と「暮らし」を守る施策の財源を確保

令和8年度予算に対する修正案 フレーム

歳出	歳入
<p>〔歳出の増〕</p> <p>「暮らし」を守る — 原油高・物価高対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ガソリン・軽油・灯油・重油・航空機燃料の価格引き下げ 1兆8,000億円 ○ 電気・ガス料金の引き下げ 1兆5,000億円 ○ 低所得者世帯向け給付金 5,000億円 <p>「命」を守る — 必要な医療の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 高額療養費制度の自己負担限度額引き上げ凍結 300億円 ○ OTC類似薬に関する患者追加負担(「特別の料金」)の慎重な検討 — ○ ナフサの供給減・価格高騰を受けた医療機関支援 500億円 	<p>〔歳入の増〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「積み過ぎ」基金の国庫返納 3兆9,180億円 (○ 復興財源の確保 380億円) <li style="padding-left: 20px;">※東日本大震災復興特別会計に計上 <p>〔歳入の減〕</p> <p>「暮らし」を守る — 原油高・物価高対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「防衛増税」の凍結 ▲380億円
計：3兆8,800億円	計：3兆8,800億円